

令和4年7月1日（金）博物館地域説明会（芝川公民館）

<質疑応答>

・質問者①

質問：自分は10年前に東京から富士宮に来て住んでいます。とても歴史が深く、自分も歴史が好きで調べています。今の説明からいくと教育施設ですが、博物館ですよ、人を呼ぶ場所ですよ。資金を導入して回収見込みがないですよ。

教育だからお金をかけるのは当然ですが、年間一億以上も維持費がかかるので、ある程度の回収見込みがあったほうがいいですよ。具体的にどのようなコンテンツを作って、どういう人をターゲットに呼ぶかという、そういうマーケティングがここには書いていないです。そこがないといくら良い施設でも毎年一億かかる施設をもちろん最初の建設費はそんなに高くないと思うんですよ、でも毎年一億円かかるのをどのくらい回収して、どのくらい経営に回していくのかという事業計画的なものが全く含まれていないかなと思います。

もう一つ、世界遺産センターにはあまり人が入っていないと思うんですよ。300円を入れますよね、ご年配の人や小中学生は無料で入れるんですよ。でも人が入っていないんですよ。地元の人是一回行けば余計に入らないですよ。そういう施設になって欲しくないんです。

僕の見た事例からすると、茨城県にあるフラワーパークは30年以上前からある施設をリニューアルして使っています。一年以上前にリニューアルして、今すごく人が入っています。十年以上前に行ったときは全然人がいなかったんです、なぜかという東京の会社が入ってデザインをすごくきれいにしたからです。そのほかに地元の人が入る工夫をしているんです。

一番は入場料が高いんですよ、オンシーズンだとバラがメインで1200円です。オフシーズンだと800円、年間パスポートだと3600円です。中のバラも毎年変わって、人を雇ってきれいに整備しているんですよ。カフェも中であって、グランピングもできる、前はそんなの全くなかったんですよ。そんな風に人を呼べる施設にさせていただいたほうがいいと思います。

あともう一つ、デザインのところですね。世界遺産センターもすごくいいデザインだと思います。それに対して中身、コンテンツが少ないように感じます。常設展、季節ごとに変わるものもあるんですけど、富士宮市も世界遺産センターもホームページがすごく面白くないんですよ。僕は40代ですけど、地味すぎます。デジタルコンテンツの強化が必要かなと思います。

あともう一つ、僕は基本的には反対なんです。今食料危機が訪れているような状況なんですよ、どんどん物価が上がって行って、ものが手に入らなくなっている。そ

んな状況なのにこれをやるんですか、僕だったらやらない。もうちょっと様子見かなというところですね。

ひとつご意見として聞いていただければと思います。

回答：ご意見として聞いておきます。その中でも大変貴重なご意見だと思った所が、事業計画という所なんです、これは次の基本計画の中で策定することになっていますので、今の段階では基本的な枠組みだけ提示しているという所ですので、これから取り入れさせていただきます。

#### ・質問者②

質問：これは決定事項なんでしょうか、ということと、市民に『作ってもいいだろうか』と聞いて頂いていない、ということ。

また、博物館の運営に関して全国で博物館のある市にアンケートを取ったものを調べさせて頂いたのですが、年間の入場者数について 5000 人未満だというのが全体の 25.7%、3 万人未満が 3 分の 2、これは特殊だと思うのですが、50 万人以上が 2.8%という資料を検索することができました。

博物館と聞いて一番最初に思ったのが『箱物?』という印象です。箱物って言い方が悪いのですが、最初は皆さんも興味を持って行くかもしれないですが、面白くないなと思うと二回目は行きません。

内容を伺うと、立派だなという学芸員の方もいらっしゃって。

ただ、さっき質問された方と同じように、回収はどのようにされるのかなと、そこが一番心配です。

芝川地区はもう高齢社会になっていると思います。年金生活をしている方が多い中で税金を使ってそこまでやっていいのかなと思います。今コロナが収束にかかっていますが、物価も税金も上がっている中でどうなのかなというのが一番心配です。

回答：博物館＝箱物、とお感じになっているようですが、博物館は文化財を保存して次の世代につなぐためのシステムです。

そういうシステム全体が必要であって、そのための拠点が必要だから、たまたま富士宮の場合は使える建物がないので、建物を用意するということです。

土地についても、使える場所を調べた中で見つけたのがこの三か所です。

これからの検討の中で皆さんにご理解頂けるように、箱物ではなくシステムだということをご理解いただけるようにしていきます。これは決定事項ではなく、こんな物を作りたいと思っているということを示しているのであって、今後も必要性をご理解して頂けるように活動していきたいと思っていますのでよろしくお願ひします。

#### ・質問者③

質問：今日来て良かったです。すごく沢山の素晴らしい方がいっぱい考えてくれて良いと思

ったんですが、内房でも川勸請が下火になってなくなりつつある等、今はまだやっていますが、そういうものが失われていくのをすごく嘆いていて、昔からやっていることは続けたいという話があります。もしこういう物があれば継承できるのかなと思います。

ただ、私の周りでは、『えっ、そんなの作るの知らないよ』と言う人がたくさん居るんですよ。職場で、『こういう物ができるんだって。22億だってね。』という話をすると、『知らない』って人が結構居るので、何かもっと市民の人たちに知らせる方法はないのでしょうか。

新聞を読まなかったり、議会だよりを見なかったり、そういう人も多いと思うんですよ。もっと知らせてもらいたいです。知らない間にどんどん進んでいく感じがしています。

回答：皆さんがご存じないという意見も多々あります。そこは我々も反省しなければならぬと思いますし、ですから今こういう説明会を開いています。まだまだ足りないということであればこれからも説明の活動を続けていきます。

質問：(博物館を作ることは) 決定ではないですね？

回答：はい。あくまでも皆さんに説明するために、こういう基本線でどうでしょうかという基本構想を策定しました。こういった方向性で進めていきたいのですがいかがでしょうか、という説明をしているのが今の段階ですので、これから先色々なステップがありますので、また、そのつど説明させていただきます。

#### ・質問者④

質問：先程、博物館というのはシステムと言われましたが、仮にシステムだとしても維持費はかかります。

運営という言葉を使っていますが、運営というのは作ったものを組織を利用して活用していくことだけだと思います。経営的なセンスが運営には入っていないんです。維持管理費はこれからどのくらいかかるか分かりませんが、運営は経営とは違うので、絶対税金だけを使うと思うのですが、運営の中に多少経営の概念を盛り込んだ状態でやっていくのであれば、維持費のうちいくらかはカバーできるのではないかと思います。

ここに書いてあるのは運営だけなので、税金だけを使ってという話になりますとハードを作って何をするんだという話になってしまうと思います。運営というのが、一番大事な説明がされていません。

どうやって運営の中に経営を盛り込んで維持管理していくかということが大事になってきます。その説明が無いので皆さんが運営という言葉はどう理解されているのかお聞きしたかったのが一点です。

あと、富士宮市は後発だと思うのですが、先発でやっているところは沢山あると思

ます。その先発の良い所、悪い所を調査した結果、こういう状況なのでこうしましたよ、目指すべきところはこの博物館を目指してやってきますよ等、そういうことを教えてもらいたいです。

回答：運営という言葉でご指摘いただきましたが、当然経営の概念も必要だと思います。ただ、基本的な考え方としては文化財を守り育て次の世代に繋げていくという所になってきますので、そういった活動をするんだということで運営という言葉を使わせていただいています。博物館法の中で、『博物館の設置および運営について定めていくのが博物館法の目的だ』とうたわれているので、言葉として運営を使っています。維持管理費などについては、どういった運営をしていくのかでだいぶ変わってきます。まだそこまでは検討が進んでいません。現時点では基本になる考え方をお示ししている段階ですので、これから経営や収支の問題は検討していきます。

先発の博物館の良い所、悪い所を研究したのかということについては、この作業をする中で検討しております。博物館の多くは約30年前からやっています、基本は文化財を保存・保管する、そしてそれを皆さんに展示という形でお返りする、それが基本になっています。

そこはどこもぶれてはいないのですが、やり方として、例えば研究に振った所、県内ではふじのくに地球環境史ミュージアム、世界遺産センター等です。その他にも茅ヶ崎や松江等、そういった資料も研究し、色々な博物館の資料を研究して作っております。

また、今回の検討委員会にご参画いただいた先生方の中には博物館勤務の経験の長い方もいらっしゃいますし、博物館の実務をご存じの方も多いです。その中で目指すべき方向性を出していますので、またご意見あればご参考にさせて頂きたいです。

質問：目指すべき博物館のターゲットというのは決まっていないのですか？例えば〇〇市の博物館、などです。もしあれば、その博物館について調べてアドバイスなどができるのですが、ターゲットが分からないと何をアドバイスしていいか分かりません。

回答：私どもとしては、色々な博物館を見た中で富士宮市が目指す方向として本日ご案内させて頂きました『人づくりの拠点』ということで進めていきたいと思っています。これは特徴になりあまり取り組んでいる博物館は多くありませんが、思い切り地域に密着した形で進めていきたい、というのが基本理念になっています。

もしこんな博物館コンセプトに合っているのではないかという所があればご紹介いただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

#### ・質問者⑤

質問：これから基本計画の策定ということですが、検討の記録の情報公開は行われるのでしょうか。

回答：行ってまいります。構想の検討についても出せるものと出せないものがあるとのこと

で判断させて頂いたのですが、いろいろなご指摘を受けまして、議論の内容を皆さんにお知らせする形をとっていきたいと思います。

・質問者⑥

質問：富丘交流センターでも説明を聞かせて頂きました。

その時も富士市の博物館で縄文のお祭りみたいなものやっていて、こういうことができるんだよと言われていましたが、芝川地区だって大鹿窪で縄文祭りをやります。今、地域密着とおっしゃいましたが、担当の方達がどれだけ地域密着の文化、歴史、残したいものがあるのか把握されているのかどうかという心配。

色々な所を見て回っているのかどうか、これは単なるコンサルの作りあげた企画に沿って『いいね』と言っているのではないのでしょうか。

どのような人がこの話し合いに参加し、どのような議論がされてこうなったのか、市民の私たちには何も見えません。はっきり、『これだけしっかりした人たちがこういう意見を言って、だからこの博物館を作る意味がある』というのをしっかり市民に周知して頂ければ、たぶん市民の方もそれなら作ってもらってもいいね、という風になると思います。今はただコンサルの人たちが考えた、と言っても私はどうしても納得できません。どんな所を見学に行かれたのかをもう少し知りたいです。

回答：博物館の見学というのではありません。

今回委員に関わって頂いた皆さんの中で5人の方は、博物館の見学ということになさなくてもご存じの方です。そういった方々から、じゃあどの博物館が、色々な参考になっている（という情報をお持ちの）方がいらっしゃいます。ここではこの博物館が参考になるよ、などの議論や、情報もいただいております。コンサルタントからもここではこういうコンセプトでやっています、建物はこういうコンセプトでやっていますよ、というような情報も持っております。私も色々な所は見て回っています。そういった中で色々な人の知恵を集めてやっております。

もちろん博物館を実際に見て議論ができればいちばんよかったですのですが、コロナの影響であちこちいける状況ではない中で、できるだけのことを考えてやってきたつもりです。もちろん、もっとこういった情報を入れていくべきだというご指摘だと思いますので、そこは取り組んでまいりたいと思います。

・質問者⑦

質問：プレゼンを聞きましたが、一貫性がないというのが正直な感想です。今回のコンセプトを考えてみると、埋蔵文化財センターの保存しなければいけないものがあるから保存場所を作りましょうというところから始まり、でしたらついでに博物館にしてしまおうというノリでここまでもって来てしまったんじゃないの、という風に思えてしまって仕方ありません。

その後から富士山や郷土の色々な風習等を一か所で見れるようにしましょう、という理由を付けている印象を受けます。

市民参加型、小中学生の富士山学習の絡みを行う、世界遺産センターとの絡みでやっていく、といったことも後から付けている印象を受けます。どうも一貫性がありません。

また、観光客を市内外から誘致するという動きも見えません。そうしたいけれど、そうしてしまうと俗っぽいからあえて出さないでいるのかどうかは分かりませんが、すべてにおいて中途半端という一貫性がありません。

市内の小中学生の活動のためにバスを10台用意するということですが、そんなに必要なんですか？ そのバスは誰が使うんですか？

観光客に来てもらいたいと考えているのであれば、そういった人たちが魅力を感じるような展示にしないといけないので。地元一体型というだけでは、例えば山梨の人が富士宮に見に来て、また来ようとは思いません。

富士山学習との絡みというのもありましたが、私は子供が三人いて市内の小中学校に通っています。実際富士山学習の現場の話も聞いていますが、富士宮の中学校を出た大人がみんな日本全国どこでも富士宮のプレゼンができるんですかと言っても、そういうわけではありません。年度の終わりくらいに文化会館で各学校の代表者がプレゼンをしますが、ごく一部のしっかりやってきたお子さんたちばかりで、大半のお子さんは中途半端で、富士山学習が本当に富士宮市の郷土を知る機会になっているのか疑問です。一生懸命やった人はそれなりの効果が出ていますが、そういう人たちだけに負担がかかっていたり、名前だけであまりきちんとやらなかった人も居て、一部で評判の悪い富士山学習をやっていて市民の理解を得られるのかなとふと思ひ、あらゆるところでいいところ取りをしているけれど、どれも一貫性がない感じがします。

色々で経営の話もでていますが、維持費に一億かかっています。

僕らの税金ですよ。市内に生活保護等で税金を払っていない方もいらっしゃる一方で、給食費が払えない人も居て、今の世の中でこういうことをするよりは、学校の給食費をタダにしたり、そういう所にお金を回したほうがいいんじゃないでしょうか。

その方が市民からの理解が得られると思いますし、それは来年度からできますよね。そのほうが富士宮市は良いことやっていると思うから思われますね。

回答：ご意見として承っておきます。今まで説明させて頂いた中でご納得頂けていないようですので、別の機会を設けさせて頂きたいと思います。

・質問者⑧

質問：白鳥さんのフェイスブックを見て説明会に来ました。中学二年生と小学三年生の子供

がいます。中学二年生の娘を習い事にする前に、娘に白鳥さんのフェイスブックの投稿を見せて感想をもらいました。13歳の娘は22億という建設費と、年間1億という維持費がかかることについて、『ママたちがまたお金を払うのに、パパやママがお仕事遅くなって疲れて帰ってくるようなら、今のところ私はいらぬな』と書いていました。今日はそれを伝えさせていただきたくて、ここに来ました。

回答：文化財は保存していかないと次の世代に伝えることができません。そういう宿命を持っていますので、かけるべきところはかけないといけぬというのが私どもの考えです。ただその中で優先すべきものが何かということは議論を重ねていくべき所です。

・質問者⑨

質問：資料の中で1㎡当たり42万～60万円、総額23億くらいという金額がありますが、いつのオープンを予定していますか。

回答：資料7ページをご覧くださいなのですが、順調に進んだ場合は令和9年度の開館を予定しています。

質問：今までの質問を聞いているとまだ議論が必要なようですが、もう令和9年度と決まっているんですね。

回答：あくまでスケジュールで、目安です。皆さんのご意見や今後の議論で変更する可能性があります。

・質問者⑩

質問：決定事項ではないとのことですが、こういう説明会に来られる方、来られない方居ると思います。説明会を開いたから理解してもらった、という風に思っていたら、それは違うんじゃないかなと思います。

市民に『博物館を作ってもよろしいでしょうか』という意見を聞いて頂くことはできないのでしょうか。それで反対票が多ければ頓挫するということもあると思います。そういったことはしていただけないのですか。

回答：市民全員からのアンケートは考えていませんが、色々な機会を利用し説明会を開きながらご理解頂けるように進めていこうと思っています。

・質問者⑪

質問：何回も出ていますが、作るのは決定じゃないんですね？

また、ここに出ているスケジュールは市長さんのスケジュールに合わせてるんじゃないかという噂もありますが。

回答：作るのは決定ではありません。市長のスケジュールに合わせているというのは、全く違います。

質問：もう一度確認します、これは必ず作るものではないんですね？

回答：必ず作るかというともた違うんですけど……

そもそも構想を作るというのは必要であるということで、今我々が持っている、特に文書や木簡は湿気のある所でしか管理できておらず、何かあったら流れてしまうような場所にあります。収蔵庫ありきじゃないかというお話もありましたが、そもそも博物館が無いので、それを保管して活用する場所がないんですね。

倉庫があればいいんじゃないなくて、それを読み解いて、展示する場所が必要で、研究する人がいて、それで初めて博物館となりますので、ありきというのではありませんが、今富士宮に足りない機能を整備したいというので、こういうものですよと説明させて頂いています。内容がぶれているんじゃないかって話もありましたけど、できるだけ多くの子供たちに富士宮のことを知ってもらうための場所を作りたいと思っています。富士山学習が役立っていないという話ですが、昨年まで西高の校長先生から富士宮の子供は富士山学習をやっているからプレゼンがうまいと聞いてうれしい気持ちになりましたとのことでした。

これは構想なので決定ではないです。こういうことを考えているということを示しているので、ご理解していただきたいです。